

さわらび

第67号

平成30年2月25日発行

社会福祉法人 泰仁会
 特別養護老人ホーム「やさと」
 石岡市小倉442-1
 TEL (0299) 43-0811代
 特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」
 東茨城郡茨城町桜の郷231-7
 TEL (029) 292-3900代



大洗で初笑いだワンッ!

泰仁会・江隆会ホームページ

クリック!

泰仁会 検索

泰仁会ホームページ やさとブログ

目次

節目の年、挑戦の年	2	社会福祉大会表彰!	5
やさと新年会	2	初詣	5
菊まつりへ!	3	餅つき大会	5
家族会	3	『表明』	6
特養 クリスマス会	3	桜の郷 元気 タイムライン	7
ならせ餅づくり	3	感染症対策	8
家族介護者等交流会	4	新人紹介	8
祝! 100歳	4	事故対策、身体拘束ゼロ	8
親睦会旅行	4	苦情処理委員会	8
託児所 クリスマス会	4	今までありがとう	8
濁沼で忘年会!	5	編集後記	8

感染症対策

看護師 荒川 裕子



特養やさと 介護職 佐久間 圭太



特養やさと 介護職 ウィンディ

感染症が流行している季節です。みなさんはどう対策していますか?
 基本は手洗い・うがい・マスク着用を徹底し、処方された薬は飲みきる事です。また、吐物、排泄物の処理は必ず使い捨てのゴム手袋を着用し、付着した衣類は



分けて洗濯をしてください。そしてこまめな水分補給も必要です。感染症にからない為に、十分に栄養と睡眠をとって乗り切りましょう。

私はご利用者様とのコミュニケーションを大切に考えています。入職してまだ日は浅いですが、早く顔と名前を覚えていただき、先輩方に指導を受けながらご利用者一人ひとりの生活をサポートしていけるように頑張っています。
 元気に笑顔であいさつをしますので、よろしくお願いします。

新人紹介

日本で働くのは、私の夢でした。
 私はイスラム教で女性はジルバブを被ります。女性にとってはとても大切なことです。
 お祈りは一日五回あります。施設で働くときにジルバブを被ることができるので感謝しています。これからは一生懸命に働きながら、勉強していきたいです。

十月十八日、やさとのご利用者や託児所の子どもたち、職員から愛されていた愛犬ステラが十三歳でこの世を去りました。
 普段は中庭にいて、走り回っても畑の中には入らない利口で優しい犬でした。今までたくさんの癒しをくれたステラに感謝いたします。心から冥福を祈り、旅立ちを見送りました。



今までありがとう

平成三十年となり、来年五月からは新元号になります。「平成」と発表された日が昨日のことのように思い出されます。三十年あつという間ですね。皆さんは新しい年に目標を決めていますか? 私は、ありすぎて絞りきれっていませんが、まとめて言うなら『自分に負けない』ってところでしょうか。今年もよろしくお願ひします。(K)

編集後記

～事故対策委員会より～

桜の郷元気では、事故、ヒヤリハットの原因追求と分析を行い、予防対策の共有に努めています。
 やさとでは、事故の定義を厳しく見直しました。しっかりと分析を行い、対策を講じ、安心・安全に過ごせるよう職員一丸となってリスクマネジメントに取り組んでおります。

【桜の郷 元気】

月	9月	10月	11月	12月	合計
ヒヤリ・ハット	77件	114件	137件	114件	442件
事故	6件	8件	4件	8件	26件

【やさと】

月	9月	10月	11月	12月	合計
ヒヤリ・ハット	198件	222件	237件	259件	916件
事故	20件	16件	22件	39件	97件

やさとの数字内にデイサービスやさと、ケアハウス、GHさわらび、国府あおひの件数も含まれています。

～身体拘束ゼロ委員会より～

桜の郷元気では今期身体拘束対象者ゼロでした。今後とも、身体拘束ゼロに取り組んでいきます。
 やさとでは身体拘束対象者はゼロです。施設において、身体拘束は原則行わない事を目標に掲げておりますので、この状態が継続できるよう今後も取り組んで参ります。

	9月	10月	11月	12月	合計
桜の郷元気	0件	0件	0件	0件	0件
やさと	0件	0件	0件	0件	0件

～苦情処理委員会より～

【ご意見・苦情内容】
 ・ご家族への報告・連絡の不備、デイサービス送迎時間についてのご意見をいただきました。改善に努めております。(桜の郷元気)
 ・ご利用者からの要望、ご利用者のケアについてご意見をいただきました。施設全体の課題と捉え改善していきます。(やさと)

	9月	10月	11月	12月	合計
桜の郷元気	2件	0件	1件	2件	5件
やさと	1件	0件	0件	1件	2件

節目の年、挑戦の年

特別養護老人ホーム やさと
施設長 高城 裕



施設長 高城 裕

明けましておめでとうございます。平成三十年がスタートしました。昨年は、施設運営に対し、皆様の格別なご理解とご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。年を重ねるごとに一年のサイクルの早さを痛感しています。

今年度は三年に一度の介護報酬改定があり、介護業界に大きな影響を与える重要な年となります。この改定は、サービスをご利用されている方や介護保険料を納めている方々にも影響があります。これから利用される方々も国の将来に向けた方針により、無関係ではられない現状です。

このような状況の中、私達は、どのように地域社会に貢献し、常によりよいサービスを提供していくため、腕が試されているように感じます。前回の介護報酬改定の影響により、全国にある特別養護老人ホームの約

三割が経営難という実態もあります。私達にとりましても見過ごせない状況です。これからの少子高齢社会、社会保障費の増大を踏まえても介護報酬改定は、厳しい状況が続くと考えます。さらには、私達にとりまして一番重要な人材を確保することが困難な状況となっております。介護に限らず各業界においても人手不足が課題となり、多様な人材の確保、働き方改革への推進が求められています。このような中、私達はいち早くワークライフマネジメントに取り組みんでいます。

「働く価値観として「楽しく働く」「やりがいがある」と感じられると同時に、ご利用者の満足いくサービス提供をすることが原点であること、を再確認していきたいです。

そして、やさとを拠点として、更に組織力を高めるため、運営方針としてご利用者の方が「自分らしく生きる」ことを掲げ、同じ地域で暮らす方々、生活する環境は違いますが生きることへの想いは一緒です。各事業所、職員が同じ志で支援していきたい所存です。本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますように心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

やさと新年会

おぐらの里グループ
介護職 エレブン

やさとでは元旦に新年会を開催しました。特養、ケアハウス、グループホームのご利用者が参加され、始めに高城施設長より新年の挨拶を頂き、甘酒で乾杯しました。アトラクションとしてお菓子の詰合せ抽選会や、職員による二人羽織りでケーキの早食い対決を行いました。

抽選会では皆様ドキドキして、二人羽織りでは顔中クリームだらけの職員を見て初笑いが起こり、笑顔で新年を迎えることができました。



桜の郷 元気 タイムライン

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、桜の郷元気で様々な行事が開催されました。

感染症に特に注意が必要な季節です。一月三十一日現在入居者様・利用者様のインフルエンザ等の感染症の発症はありません。引き続き、感染症対策をしっかりと行い、安心して生活していただけるように努めます。まいります。

今年も、よろしくお願い申し上げます。



特養

年が明け、元旦恒例、無病長寿を願ひ、全ユニットの入居者、ご利用の皆様へ施設長の御屠蘇を振る舞わせて頂きました。

おかわりされる方など、笑顔の耐えないお正月行事となりました。

デイサービス



桜の郷元気デイサービスでは、一月二、三日とお正月営業を行いました。二日間で五十名の方にご利用いただき、福袋やおみくじなど新年を職員とともに楽しくすごさせていただきました。今年も多くの方に楽しんで頂けるよう頑張ります。

自衛消防訓練



二月一日、自衛消防訓練を開催しました。今回は1階南側ユニットから出火を想定し、消火・通報・避難訓練を開催しました。火災で一番の天敵は、煙です。一酸化炭素中毒での被害が一番影響が大きいので、排煙等に注意しながら避難訓練を行っています。

『 表 明 』



元氣 桜の郷
施設長 施永山直人

法人・グループで、毎年度のスタートをしっかりと切るために欠かせない、「平成三十年度事業計画策定研修」が先月終了しました。二日間にわたってワーク(作業)中心の「研修」でしたが、最終日には各事業所の管

理職から、「事業計画・目標策定シート」という、各月における計画の進捗具合を、一目で確認できるシートを使ったの発表で、「決意表明」がなされました。この事業計画案の基本となる方針は、初日に法人・グループ代表の菊地常務理事、その後各施設長から事業所方針の中で伝えられました。私の「三十年度への想い」は、次のように職員に訴えたところ
です。『平成三十年度は、「平成」の元号が最後となる年度です。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを、二年後に控えている年度でもあります。そして、「実感」は全くないものの、景気動向が上向きになっていると言われている中で、我々は地道ながら「日本の社会保障制度」を最前線で支えているという「誇り」を持って、「揺るがない方針」で進んでいく必要があると思っています。「平成最後となる年度」を皆と「記憶に残る年度」にしたいとイメージしています。また、平成三十年度は「介護報酬の改定」の年度となります。しかし、介護報酬改定や制度改正があったとしても、ご利用者対応を変えなければならぬのでしょ

うでしょうか。我々の姿勢を変えなければならぬのでしょ
うか。我々、泰仁会及び桜の郷 元氣は、制度改正や報酬改定に惑わされる事なく、平成三十年度においても、法人の経営理念を貫き、運営方針として「地域と共に暮らし地域につながるサービスの実践」を、これまでどおりしっかりと、ご利用者と向き合って実践していく事を、冒頭に宣言させていただきます。そのため、特に以下の二点を三十年度成果として、「形」にする事を約束します。まず一つ目には、地域に暮らす高齢者の方々が、たとえ何らかの障害を負って介護が必要な状況になっても、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるように、新しい「在宅介護事業」の展開です。この事業を形にする事によって初めて、桜の郷 元氣として、「地域社会に貢献する」と言えるのではないのでしょうか。二つ目には、法人・グループで取り組んでいる「ワークライフマネジメント」(ワークとライフにメリハリをつけて自律的にマネジメントしていく)を桜の郷 元氣として、大きく前に動かす事です。理念に示されている「職員の成長のための経営戦略」(や

さと大塚総務課長)として、職員一体となつて進めます。平成三十年度においても、これまで皆と一緒に積み上げてきた、「夢や想い」は追い続けます。これまでの運営は、地域のみなさま、ご利用者のみなさまに支えられての運営でしたが、これからはその「恩」を返していかなければなりません。私たち桜の郷 元氣の最大の特長となる「ユニットケア」は「地域との結節点」(つなぎ目)でなければなりません。と言われている全職員が更に専門性を深め、「施設があつて良かった・ここにおいて良かった」と、ご利用者はもとより、我々もそう感じていけるように、施設長として一生懸命に指揮を取っていきますので、職員のみなさんにも更なるご協力をお願い致します。』と
。法人・グループ管理職約六十名の前で宣言した気持ちを忘れる事なく、平成三十年度を迎える覚悟です。



菊まつりへ!

あじさいグループ
介護職 青木 聡太郎

あじさいグループでは十一月に笠間市で行われた菊まつりに行ってきました。

芸術の森公園でお昼を食べたあとに、稲荷神社にてお参りを行いました。神社ではたくさんのお菊を見学し、その鮮やかさに見とれてしまいました。

お土産も買うことができ、また来年も皆で一緒に行きたいと思えます。



GH 家族会

グループホーム
介護職 津村 健一郎



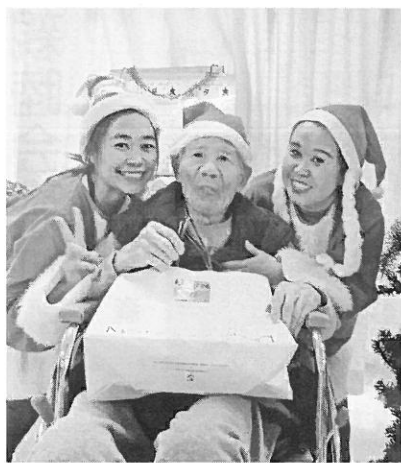
グループホームでは十二月二日に本年度二回目の家族会を開催しました。アトラクションとして霞琴の会様に大正琴の演奏会をしていただきました。昼食会も含め、多数のご家族の参加もあり、ご入居者と楽しい交流のひと時を過ごすことができました。

特養 クリスマス会

ひまわりグループ
介護職 コロリ

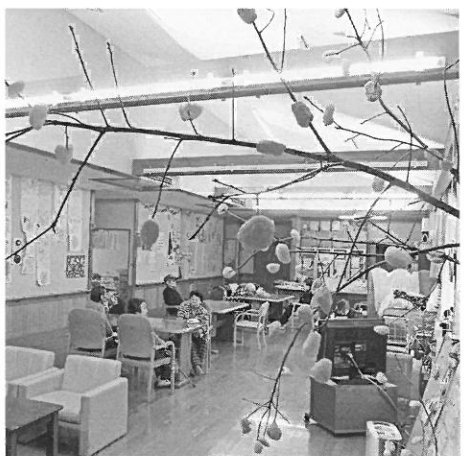
やさとは十二月二十四日にクリスマス会を行いました。サンタに扮した職員とご利用者が一緒に写真を撮り、おやつにはケーキを召し上がっていただきました。

ご利用者それぞれに合ったプレゼントを渡し、皆さん笑顔で喜んでいました。ジングルベル♪など歌を口ずさむ姿が見られました。



GH ならせ餅づくり

グループホーム
介護職 津村 健一郎



一月十五日に茨城県の伝統行事である、ならせ餅を行いました。さわらびご入居者に頑張っていたいただき、紅白の餅をたくさん木にならすことができ、季節を感じることができました。

家族介護者等交流会

在宅介護支援センター
前沢 光枝

十二月一日に家族介護者等交流会を行いました。総勢二十一名の参加者が雪印メグミルク阿見工場にて酪農の歴史や乳製品の製造過程を見学しました。

ポケットファームどきどきでランチを堪能し、日頃の介護の悩み等を話し合い、バスの中では歌やゲームで楽しいひと時を過ごしました。



祝！100歳

特養やささと
相談員 山口 友一

十月三十日、特養やささとご利用者の大竹正子様と田上すい様の百歳のお祝いを行いました。石岡市長の今泉文彦様が来園され、賞状や祝辞をいただきました。最後にみんなで万歳三唱を行いました。これからもお元氣にお過ごしください。



親睦会旅行

やささと
事務 森 浩一



やささとは十月から十一月にかけて職員同士の親睦を図るために三班に分かれて福島アサヒビール工場見学と水族館アクアマリンふくしまへ旅行に行っていました。皆で楽しく会話や食事をしながら交流が深まりました。

クリスマス会

こぎつねの郷
市川 智美



十二月十八日、こぎつねの郷でクリスマス会を行いました。みんなでツリーを飾りつけ、手作りのベルで歌をうたいクリスマスを楽しみました。サンタさんからプレゼントを貰うと「ありがとう」と嬉しそうな子ども達の姿がありました。



酒沼で忘年会！

デイサービス 岡崎 明裕

デイサービスでは、いこいの村酒沼にて忘年会を行いました。三十一名のご利用者が参加され、酒沼を目前に昼食を摂りました。

ポケットファームどきどきでは子豚ショーに子供達と一緒に参加され、ご利用者の皆様から元氣と笑顔をいただきました。



社会福祉大会表彰！

十一月八日、茨城県社会福祉大会が常総市地域交流センターで開催され、やささと職員の「飯島看護師」「萩原看護主任」「吉岡ケアマネジャー」「森田介護員」が感謝状を贈呈され

ました。長年にわたり社会福祉施設に勤務し、地域社会に貢献した功績の証となります。おめでとうございます！

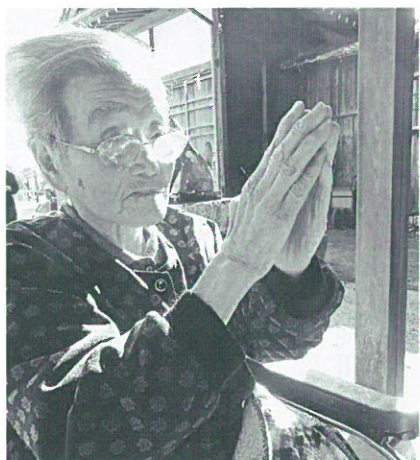


初詣

すずらんグループ

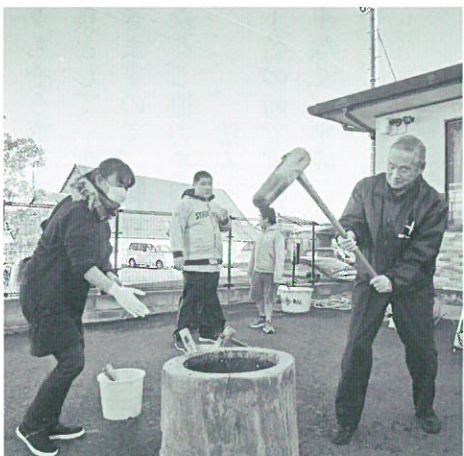
今年の元旦から中旬に掛けてご利用者と一緒に地元の神社へ初詣に行きました。

朝から「今年も行くことができ嬉しい」「いつ行くんだ」と、楽しそうに準備をされていました。皆様それぞれの願いを込め、手を合わせてお祈りをされていました。



餅つき大会

国府あおい
介護職 利根川 ひとみ



十二月二十八日、国府あおいの駐車場にて餅つき大会を開催しました。寒い中ご利用者全員と地域の方々や区長様も参加してくださいました。よいしょ、よいしょと大きな声でお餅をつき、皆様におしるこを振る舞って「おもてなし」をしました。

